

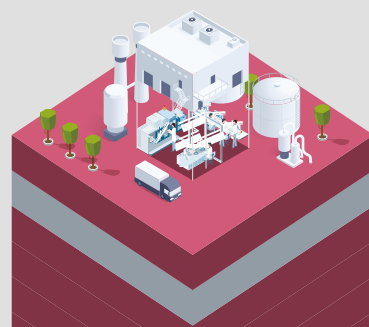


クリンカラー

Wエース

つや有 つや消

水性高硬度アクリル樹脂防塵床用塗料



鮮やかで美しい仕上がりの「つや有」とシックで落ち着いた仕上がりの「つや消」をラインアップ。水性なので取り扱いが簡単で、塗装作業性にすぐれた環境にやさしい塗料です。水性での高硬度を実現し、一般工場から事務所、店舗などに適用できます。

Point.1 ※1 汚れに 強い

新しく塗り直した床、
いつまでも綺麗で丈夫な状態にしたいですね？

Wエースは、一般水性床用塗料(当社従来品)と比べ、丈夫な塗膜で汚れがつきにくく、
摩耗にも強いので、床を綺麗な状態に保つことができます。



※1つや有の場合

16ヶ月後

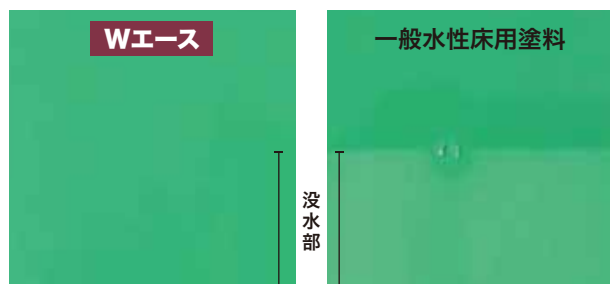


試験箇所: 当社構内、屋外コンクリート面

Point.2 施工後の 降雨に 強い

塗りたての床が、
突然の雨で台無しに
なってしまったら
残念ですね？

Wエースは、一般水性床用塗料(当社従来品)と比べ、
水に濡れても塗膜が白化しにくい特長があり、塗装後
の突然の降雨などによる白化リスクを低減しています。



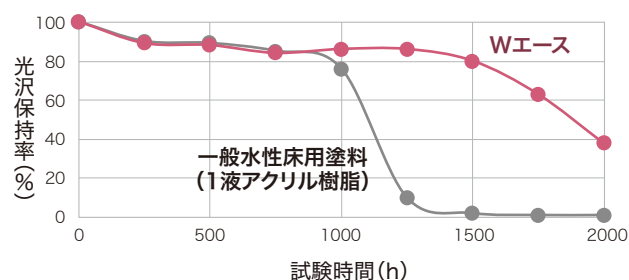
試験条件: 10°C×3h乾燥→10°C×16h没水

Point.3

耐久性が 高い

せっかく塗り替えた床、
できるだけ長持ち
させたいですね？

Wエースは、一般水性床用塗料(当社従来品)と比べ、
耐候性に優れており、屋内外問わず幅広い用途に対
応できる耐久性の高い塗料です。



試験条件: CB2グリーン キセノン促進耐候性試験 JIS K 5600に準ずる

色相

注：高彩度や極淡彩の色相についてはご注文前にご相談ください。色相によっては隠れにくい難い場合がございます。また印刷につき実際の色相とは異なります。 ※2つや有のみ

代表色の一例



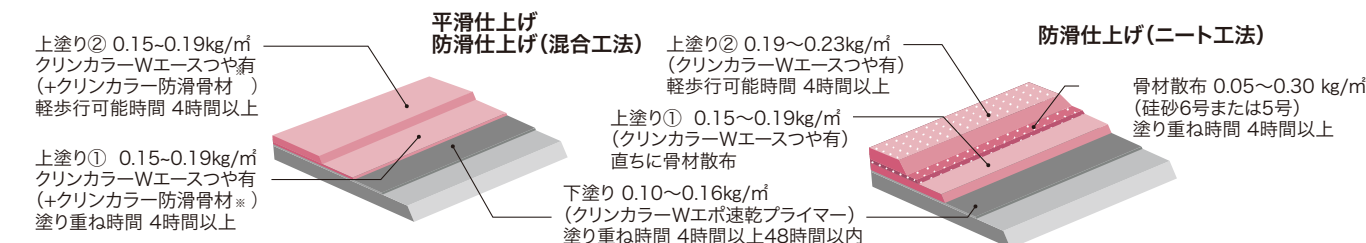
容量・使用量・塗り面積

製品名	容量	希釈剤	希釈率 (%)	仕上げ	使用量kg/㎡/回	1石油缶当たりの塗り面積 (㎡/缶)
ニッペクリンカラー Wエボ速乾プライマー ※3	12kgセット	無希釈	—	—	0.10～0.16	75～120
	3kgセット					
ニッペクリンカラーWエース つや有	15kg	水	0～5	平滑 防滑 (混合工法) ※4	0.15～0.19	39～50 (2回塗り㎡)
	3.5kg			防滑 (ニート工法) ※4	1コート目0.15～0.19 2コート目0.19～0.23	35～44 (2回塗り㎡)
ニッペクリンカラーWエース つや消	16kg	水	0～5	平滑 防滑 (混合工法) ※4	0.20～0.24	33～40 (2回塗り㎡)
	3.5kg			防滑 (ニート工法) ※4	1コート目0.20～0.24 2コート目0.24～0.28	30～36 (2回塗り㎡)

※3 硬化剤には夏型と冬型がございます。使用目安は気温15℃以上：夏用、気温5℃以下：冬用です。

※4 混合工法はニッペクリンカラー-防滑骨材を塗料に混合した工法、ニート工法は塗装後に骨材(珪砂)を散布する工法です。

標準塗装仕様 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)



注：クリンカラーWエースつや消の場合には、平滑仕上げおよび防滑仕上げ(混合工法)※は上塗り①および②の塗布量は0.20～0.24kg/㎡、防滑仕上げ(ニート工法)は上塗り①0.20～0.24kg/㎡、上塗り②0.24～0.28kg/㎡、塗り重ね3時間以上となります。軽歩行可能時間は4時間以上となります。

※防滑仕上げ(混合工法)の場合は塗装前に混合してください。

施工上の注意事項 (詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- 使用量は、塗料のみについての記載です。塗料の中に珪砂やウレタンチップを混合して防滑仕上げする場合に、混合する珪砂やウレタンチップの使用量は含まれていません。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用は離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- 施工後、車両のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可塑性を含むものを置くと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。
- 厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- 旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- 歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- 舗装して間もないアスファルト面の場合は、油分が表面に染み出てこなくなるまで(目安は舗装後およそ3週間程度)、塗装を避けてください。
- 旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
- 強化コンクリート、カラーコンクリート、フェロコン、密に仕上られた一般コンクリート・モルタル面へ施工の際は付着性向上のため、研削機を用いて下地表面を物理的に目粗ししてください。または、研磨紙(#40-80)で表面を目粗した上で、専用のプライマー(クリンカラーパワフルプライマーに強化C添加液を加えたもの、またはクリンカラーWエボ速乾プライマー)をご利用ください。
- 常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- 常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、SunフロアEレシモルクリヤー(新)※を使用した塗装仕様で塗装してください。※エースペイント社製
- 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- 下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはけがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂バテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- 塗り替え時で、旧塗膜が弾性的な場合は使用しないでください。
- 旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2～3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- 塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げする場合は珪砂は沈殿しやすいので、かき混ぜながら塗装してください。
- クリンカラー-防滑骨材を配合した塗料はすみやかに使いきってください。長時間放置されますと骨材が沈殿もしくは浮いてきます。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて割合、使い切りとしてください。
- 施工に関しての詳細な注意事項はクリンカラー施設マニュアルをご参照ください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
22. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
23. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
24. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおそれがあります。
25. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科科学社製Hi500シリーズ：コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
26. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカー、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
27. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
28. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
29. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
30. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
31. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
32. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
33. ローラー塗布の場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
34. 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
35. 塗膜面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落としてください。
36. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
37. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
38. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
39. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
40. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
41. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2026 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

お家のカラーコーディネートガイド

PERFECT
Color Design

最新情報・お役立ち情報発信中

日本ペイント
公式LINE

カタログNo.

NP-E092

NP260601T

2026年06月現在